

科目分類	栄養教諭・養護教諭 資格関連科目			開講学科	看護学科 医療栄養学科																																							
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数																																							
14003	2	前期	選択	2	30																																							
授業科目名 (英文)	教育心理学 (Educational Psychology)																																											
担当教員名	浅田 学																																											
授業の概要及び到達目標																																												
<p>○概要</p> <p>本科目では、人間の知的能力や人格はどのように形成されるかについて学び、より効果的に教育を行うためにはどのような資質や能力が必要かについての心理学的知見を学習する。主として子どもの特性（発達的特徴）、子どもへの働きかけ（学習指導法や学級経営）、子どもの学ぶ態度や能力、学びの成果（教育評価に関連する内容）などについて、調査、発表等も取り入れ授業をする。</p> <p>○到達目標</p> <p>上記内容の理解を通して、教育心理学的な視点からの子ども理解に基づき、児童・生徒へのより効果的な指導の仕方を考えることができるようにする。</p>																																												
準備学習等																																												
<p>各時間の内容については、教科書も活用する。その内容と教科書のどの部分に関連するかを示しておくので、予習や復習に活用し、授業の前には必ず読んできて欲しい。</p> <p>予習・復習 15 時間（15 週×1 時間）</p>																																												
<table border="0"> <tr> <td>第 1～2 回</td> <td>第 1 章</td> <td>人間の記憶の基本的な仕組みを理解するために</td> </tr> <tr> <td>第 3 回</td> <td>第 3 章</td> <td>ほめることの大切さや叱ることを考える</td> </tr> <tr> <td>第 4 回</td> <td>第 4 章</td> <td>やる気を促すものは何か考えるために</td> </tr> <tr> <td>第 5 回</td> <td>第 5 章</td> <td>教師が生徒に与える影響について理解するために</td> </tr> <tr> <td>第 6 回</td> <td>第 5 章</td> <td>生徒関係を理解するためにはどんな方法があるか</td> </tr> <tr> <td>第 7～8 回</td> <td>第 6 章</td> <td>どのような指導方法が学習には効果的かを考える</td> </tr> <tr> <td>第 9 回</td> <td></td> <td>第 5～6 章の内容について調べたことを発表する。</td> </tr> <tr> <td>第 10 回</td> <td>第 7 章</td> <td>児童・生徒をどう評価するか</td> </tr> <tr> <td>第 11 回</td> <td>第 8 章</td> <td>遺伝と環境の観点から人間の発達について考える</td> </tr> <tr> <td>第 12 回</td> <td>第 9 章</td> <td>知能指数は何かについて考えてみる</td> </tr> <tr> <td>第 13 回</td> <td>第 9 章</td> <td>知的能力の発達段階説 ピアジェの考え方</td> </tr> <tr> <td>第 14 回</td> <td>第 11 章</td> <td>人格の発達、フロイトやエリクソンの考え方</td> </tr> <tr> <td>第 15 回</td> <td></td> <td>各章のポイントを振り返り学校教育と教育心理学について考える</td> </tr> </table>						第 1～2 回	第 1 章	人間の記憶の基本的な仕組みを理解するために	第 3 回	第 3 章	ほめることの大切さや叱ることを考える	第 4 回	第 4 章	やる気を促すものは何か考えるために	第 5 回	第 5 章	教師が生徒に与える影響について理解するために	第 6 回	第 5 章	生徒関係を理解するためにはどんな方法があるか	第 7～8 回	第 6 章	どのような指導方法が学習には効果的かを考える	第 9 回		第 5～6 章の内容について調べたことを発表する。	第 10 回	第 7 章	児童・生徒をどう評価するか	第 11 回	第 8 章	遺伝と環境の観点から人間の発達について考える	第 12 回	第 9 章	知能指数は何かについて考えてみる	第 13 回	第 9 章	知的能力の発達段階説 ピアジェの考え方	第 14 回	第 11 章	人格の発達、フロイトやエリクソンの考え方	第 15 回		各章のポイントを振り返り学校教育と教育心理学について考える
第 1～2 回	第 1 章	人間の記憶の基本的な仕組みを理解するために																																										
第 3 回	第 3 章	ほめることの大切さや叱ることを考える																																										
第 4 回	第 4 章	やる気を促すものは何か考えるために																																										
第 5 回	第 5 章	教師が生徒に与える影響について理解するために																																										
第 6 回	第 5 章	生徒関係を理解するためにはどんな方法があるか																																										
第 7～8 回	第 6 章	どのような指導方法が学習には効果的かを考える																																										
第 9 回		第 5～6 章の内容について調べたことを発表する。																																										
第 10 回	第 7 章	児童・生徒をどう評価するか																																										
第 11 回	第 8 章	遺伝と環境の観点から人間の発達について考える																																										
第 12 回	第 9 章	知能指数は何かについて考えてみる																																										
第 13 回	第 9 章	知的能力の発達段階説 ピアジェの考え方																																										
第 14 回	第 11 章	人格の発達、フロイトやエリクソンの考え方																																										
第 15 回		各章のポイントを振り返り学校教育と教育心理学について考える																																										
成績評価の方法	期末試験 60%、レポート 20%、発表方法や内容 20%																																											

テキスト	「やさしい教育心理学」鎌原雅彦・竹綱誠一郎（978-4-641-22059-1）
参考図書	「楽しく学べる最新教育心理学」櫻井茂男編（978-4-8100-7690-5）
備考	○ 第2回授業終了後に実施するレポートについては、添削して返却する。 ○ 授業終了後に時間をとり、教室で質問を受け付ける。
授 業 計 画	
<p>授業計画</p> <p>第1回：記憶力がよいとは 短期記憶と長期記憶</p> <p>第2回：記憶の定着を図るためには 知識の意味づけや構造化</p> <p>第2回授業終了後に、これまでの自分の学び方や学びに向かう姿勢を振り返りレポートを書き提出する。</p> <p>第3回：条件付けによる学び 古典的条件付けと道具的条件付け</p> <p>第4回：学びのメカニズム 観察学習と自己強化学習</p> <p>第5回：学級という社会 児童・生徒関係を理解するために資料を調べる</p> <p>第6回：教師と子ども 教師のリーダーシップが与える影響考えるために資料を調べる。</p> <p>第7回：どのように教えるか 様々な学習指導方法について資料を調べる。</p> <p>第8回：発表に向けてのプレゼンの作成と発表</p> <p>第8回及び9回は、グループごとに児童・生徒関係、教師が児童・生徒に与える影響等課題を選択し、そのテーマに沿って調べたことについてまとめ及び発表学習を行う。</p> <p>第9回：発表学習</p> <p>第10回：児童・生徒をどのように評価するのか 相対評価から絶対評価へ</p> <p>第11回：人間の発達について考える 遺伝と環境の影響</p> <p>第12回：知的発達のメカニズム 知能指数とは</p> <p>第13回：知能の発達 ピアジェの発達段階説</p> <p>第14回：人格の発達1 フロイトの発達段階説</p> <p>第15回：人格の発達2 自我同一性の確立とエリクソンの発達段階説</p> <p>試験を実施する</p>	